

資料

☆年会費の支出目途；合宿引率者の謝礼及び各事業の補助費等にあてる。

2020年度以来、合宿や実施できなかった事業が多く年会費は全く使用していません。従って、2023年度も徴収しません。（理事長決裁としました。）

☆理事の改選；全体的に考えないといけないのですが、今井理事の転居に伴い

緊急に改選せざる得ない状況となり、三浦さんをお願いすることになりました。

必ずしも理事が解任される場合、後継者を見つけることが、条件ではありません。

また理事会後坂野理事より退会の申し出がありました。総会で審議します。

今後理事長も含め、理事・監事の改選について、意識する必要があります。

☆新型コロナウイルス感染症に伴う、東京走友塾の各事業の再開に向けての指標

*指標1 東京都の感染者数が、100人以下で増加の傾向にないこと。

これは、現在あまり現実的でないでしょう。

*指標2 有効なワクチンの接種について、メンバー及びメンバーの日常的に関わる親族等の希望者において接種が有効回数終了すること。

※各事業再開について

- 1 定期練習会事業；指標2はほぼ達成しているので2022年度同様、配慮しながら実施。
時差スタート。大きな集団にならない。給水はマイコップ等は継続する。
- 2 マラソン大会参加事業；参加可能な大会、その都度検討
東京マラソンは、権利延長1人
- 3 伴走者育成事業；合宿や大会参加などの事業が動き出してから再考します。
- 4 合宿事業；夏季合宿は、9月17日～18日に実施の場合、群馬県を想定。
今回の合宿は、走ることより、健康観察・日常生活動作（ADL）の点検を中心に考える。早朝ランニング or 散歩、自立行動など。
また参加に当たっては、練習会の参加状況、日常生活の情報収集が必要なので参加予定者との連絡を密にする。
冬季合宿は、候補地の状況を見て10月までに判断する。
- 5 知的障害者（ジョイ・コンパス）マラソン大会事業；第8回大会の実施要項に準じて検討する。

※現時点で考えられること【昨年度の要項を参考にする】

- ・エントリーした人と会場に引率等で来場する人は、大会前1週間、大会後1週間健康観察をする。様式は日本陸連の調査シートを参考にする。
- ・大会当日、受付時に非接触式検温計で体温を測り、37.5℃以上の方は、参加賞を渡し帰宅してもらう。引率者も同様で、検温する。
- ・会場内の待機場所は、密集しないように分散する。集団で参加する場合も同様。
- ・役員、ボランティアは、原則介護用手袋を着用し必要に応じて常にアルコール消毒をする。
- ・給水は、大塚製薬の好意から昨年度同様ペットボトルとしたい。
- ・大会役員、ボランティアは、原則ワクチン接種を受けている。
または感染していないことが確認できた人とする。
- ・反省会は実施しない。反省、引き継ぎ事項は書面にて行い後日まとめる。
- ・ブラインドランナーの参加・伴走研修も検討する。伴走者育成事業に対してブラインドランナーの伴走に対しての相談が複数ありました。